【北上市】　　施策評価シート（H27年度実施事業）

政策体系コード	01 － 01 － 03
施　策　名	地域における子育て支援の推進

政策統括監
保健福祉部長

◆総合計画での位置づけ

政　策	子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり
基本施策	子育て環境の充実
施　策	地域における子育て支援の推進

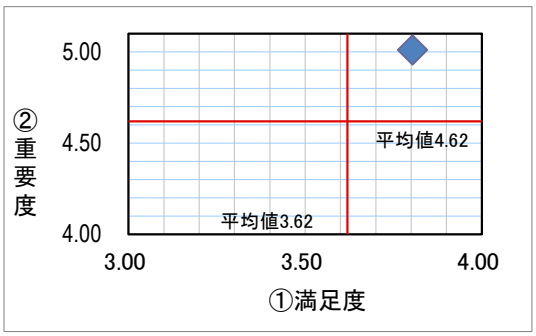
◆総合計画基本計画における施策の方針

育児不安についての相談指導や子育てのための情報提供、子育てサークルへの支援など、地域における子育てを総合的に支援するため、地域資源を効果的に活用しながら、子育てを支援する取り組みを進めます。

◆市民意識調査結果（H26年度実施）基本施策単位のアンケート

設問	「子育て環境の充実」についてうかがいます。
説明	人口減少・少子高齢化が進行する中、乳幼児、児童、妊産婦への医療費の給付や健康診査、保育サービスの充実や子育て家庭等への経済的支援など安心して子供を生み育てられる環境づくりに取り組んでいます。
事業例	・乳幼児、児童、妊産婦への医療費の給付‥一定所得以下の方に医療費の一部を給付
	・妊婦・乳幼児の健康診査‥妊婦及び乳幼児の異常を早期に発見し、健康保持増進を図る
	・保育所等施設設備、延長保育、私立幼稚園保育料の補助…保育所などの保育サービスの充実や子育て家庭の支援

調査項目	算出値	順　位
①満足度	3.81	20　/30
②重要度	5.01	2　/30
③優先度	38.96	1　/30
④改善重要度	1.21	3　/30



上記調査の満足度に関する主な理由（自由記述）

ファミリーサポートはあると助かる。
休日も子育て支援センターを開放してほしい。
取り組みは大変良いと思いますが私立幼稚園などの就園率の低さが気にかかる。
子育て支援は重要なので今後も積極的に進めてほしい。

◆施策の成果達成状況

施策における成果の定義	地域で子育てに対する協力や支援が得られ、子育て世代の悩みや不安が軽減されている（地域の中で身近に相談ができたり、子育て世代が集まって活動できる場が確保されている状態）。

No.	指　標　名	指標に関する説明（把握方法・算定式・単位等）	指標の実績値 H20（基準年度）	H26	H27	目標値（下段：達成率） 中間目標（H25）	最終目標（H27）	指標重要度
1	※ ファミリーサポートセンターマッチング割合	児童の預かり等の援助希望者に対し、支援できる人を紹介し、実際に援助の提供を受けた割合（新規依頼分）	93.5%	93.8%	100%	95.0%	100%	40%
							―	
2	※ 家庭児童相談終結割合	年度内に新規に受理した件数のうち、終結した割合（基準年度以前3か年の平均割合目標値とする）	55.4%	26%	52.6%	41.2%	40%	30%
							―	
3	※ 家庭児童相談継続件数	年度内に終結せずに次年度に継続する件数。（基準年度以前3か年の平均件数目標値とする）	106件	115件	115件	108件	95件	30%
							△81.8%	
4								%
5								%
6								%

※印の指標は総合計画（基本計画）に記載していないもの。　★印は後期計画反映として目標未設定のもの。

◆成果達成状況の分析

最終年度の達成状況		
		1.順調
	●	2.概ね順調
		3.やや遅れている
		4.遅れている

理由（上段：指標に基づくもの、下段：その他）
指標№3は最終目標に達しなかったものの、指標№1及び指標№2は最終目標に達しており、特にも指標№2は、最終目標を上回る実績であったことから、最終年度の達成状況を「概ね順調」としたものである。

◆コストの把握

（単位：千円）

	種　類	H25	H26	H27
投入コスト	直接事業費(a)	101,110	101,541	84,993
	人件費(b)	40,382	35,676	39,689
	公債費・減価償却費等(c)	324	324	324
	フルコスト(a+b+c)	141,816	137,541	125,006
	うち「業務」事業費	16,153	16,456	18,358
	うち「政策」事業費	125,663	121,085	106,648

◆成果達成状況の要因考察

外部環境（市を取り巻く環境の要因：市民ニーズ、社会経済情勢等の視点）	内部要因（施策実施過程の要因：財務、職員、組織等の視点）
①子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するため「子ども・子育て支援法」が施行され、市町村が実施する地域子ども・子育て支援事業として、ファミリーサポートセンター事業を含め13の事業が定められた。 ②ファミリーサポートセンター事業においては、サービスを提供する市民（あずかり会員）にとって、社会参加や地域参加をしているという実感につながっている。 ③家庭児童相談においては、地域社会において虐待通告が定着化してきた。 ④養育不安を抱える相談ケースが増加している。 ⑤保護者が知的障害を抱えている、理解力が乏しいなど、保護者自身の支援を要するケースが増えている。	①ファミリーサポートセンター事業においては、マッチングに至るまでの間に、職員（アドバイザー）がお願い会員からの要望を細かく聞き取り、お願い会員とあずかり会員双方の相性に配慮するなどきめ細かく対応している。 ②県児童相談主催の家庭児童相談研修の受講により、職員のスキル向上を図っている。また、北上市要保護児童対策地域協議会等、必要に応じて関係機関と連携し、調整を図りながら対応していることが終結割合の向上につながっている。 ③虐待の疑いによる通報は、確認により虐待ではないと判断し終結としたもの、養育不安によるもので相談員の関わりにより不安が解消され、終結に至ったものもある。

◆現在の課題及び改善を要する事項

①ファミリーサポートセンター事業については、より多種多様なニーズに応えるため、さらに多くの「あずかり会員」を確保することが課題となっている。

②家庭児童相談については、知的障害や理解力が乏しい保護者の相談ケースや、多種多様な問題を抱えたケース等が増えている。~~おり、~~課題の洗い出しや見極めに時間を要し、保護者自身の支援を要するケースも多くなっていることから、関係機関との連携の必要性はますます高まっている。

◆今後の展望（施策展開、事務事業の見直し等）

①ファミリーサポートセンター事業については、広報やホームページにより引き続き事業を周知するとともに、あずかり会員を増やしていく。

②家庭児童相談については、今後も北上市要保護児童対策地域協議会におけるケース検討会議等で具体的な支援の内容を検討するなど関係機関と連携して対応するとともに、専門研修等によりスキルアップを図り、迅速かつ適切に対応していく。

【北上市】　　施策評価シート（H27年度実施事業）

◆施策構成事務事業

事務事業名称（評価事業）	会計区分	事業区分	担当課	事業費（千円）	事後評価結果 目標達成状況	事後評価結果 方向性	貢献度
家庭児童相談室設置事業	一般	業務	子育て支援課	6,647	－	－	－
子育て支援員等研修事業	一般	業務	子育て支援課	835	－	－	－
地域子育て支援センター管理・維持補修事業	一般	業務	教育部総務課	629	－	－	－
市立広場等管理業務	一般	業務	教育部総務課	773	－	－	－
地域子育て支援センター施設管理業務（子育て支援課）	一般	業務	子育て支援課	8,386	－	－	－
児童遊園管理業務（子育て支援課）	一般	業務	子育て支援課	1,088	－	－	－
ファミリーサポートセンター事業	一般	政策	子育て支援課	4,381	順調	継続	高
保育所地域活動事業	一般	政策	子育て支援課	25,052	順調	継続	低
地域子育て支援センター事業	一般	政策	子育て支援課	27,498	順調	継続	高
産褥期サポート事業	一般	政策	子育て支援課	108	概ね順調	継続	低
子育て支援コンシェルジュ設置事業	一般	政策	子育て支援課	2,626	概ね順調	継続	高
私立保育園運営費等補助金	一般	政策	子育て支援課	28,002	順調	継続	中
私立幼稚園運営費補助金	一般	政策	子育て支援課	3,657	順調	継続	中
私立認定こども園運営費補助金	一般	政策	子育て支援課	13,401	順調	継続	中
子育て応援施設整備費補助金（地方創生推進事業）	一般	政策	子育て支援課	1,923	遅れている	完了	低
合　　計				125,006	（千円）		

※貢献度は、施策を構成する「政策」系事業の中で相対評価します。
※目標達成状況は、事務事業(類型5･6)の目標達成状況について、「順調」「概ね順調」「遅れている」の3つの視点で評価します。
※方向性は、事務事業(類型5･6)の今後の方向性について、「拡充」「継続」「縮小・要改善」「民間活用・協働事業化」「廃止・休止」「完了」の6つの視点で評価します。

◆施策を実現するために事務事業が適切に構成されているか／見直すべきものはないか

家庭児童相談室設置事業は、本来、施策体系コード 1-1-5「保護や支援を要する児童へのきめ細やかな取り組の推進」を構成する事務事業である。後期計画においては当施策の構成事務事業から外しており、指標も見直したことから、1項目のみとなっている。指標として想定されるものについて検討している状況である。